

第3回例会 可決した 議案

区長提出議案

令和5年度中野区一般会計補正予算(第4次)

歳入歳出にそれぞれ、81億1122万3千円を追加計上し、既定予算との合計額は、2077億712万2千円となりました。

令和5年度中野区国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ、682万2千円を追加計上し、既定予算との合計額は、360億5082万2千円となりました。

中野区事務手数料条例の一部を改正する条例

旅館業法の改正に伴い、旅館業の譲渡による当該旅館業の許可を受けた地位の承継に係る承認申請手数料について、規定を整備するものです。

中野区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法及び新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴い、新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当の名称を改めるとともに、新型インフルエンザ等対策特別措置法に係る引用条項について、規定を整備するものです。

中野区新庁舎新築工事等請負契約に係る契約金額

の変更について
鷺宮小学校・西中野小学校統合新築工事等請負契約に係る契約金額の変更について

鷺宮小学校・西中野小学校統合新築工事等請負契約に係る契約金額の変更について

鷺宮小学校・西中野小学校統合新築工事等請負契約に係る契約金額の変更について

明和中学校校舎新築工事等請負契約に係る契約金額の変更について

明和中学校校舎新築工事等請負契約に係る契約金額の変更について

明和中学校校舎新築工事等請負契約に係る契約金額の変更について

南台小学校校舎新築に伴う電気設備工事請負契約に係る契約金額の変更について

南台小学校校舎新築に伴う電気設備工事請負契約に係る契約金額の変更について

南台小学校校舎新築に伴う電気設備工事請負契約に係る契約金額の変更について

労働単価の上昇により、増額する必要があるため、契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

中野区立立小中学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

中野区立立小中学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

中野区立立小中学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

中野区立立小中学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

中野区立立小中学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

中野区立立小中学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

中野区立立小中学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

中野区立立小中学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

特別区道路線の認定について
白鷺二丁目地内の路線を特別区道の路線として認定するに当たり、議決をしたものです。

中野区保育所保育料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例

中野区保育所保育料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例

中野区保育所保育料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例

中野区保育所保育料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例

中野区保育所保育料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例

中野区保育所保育料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例

中野区保育所保育料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例

中野区保育所保育料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例

令和5年度中野区一般会計補正予算(第5次)

歳入歳出にそれぞれ、3億9887万9千円を追加計上し、既定予算との合計額は、2081億600万1千円となりました。

議員提出議案

意見書(4件)
(内容は次項に掲載)

決議(1件)
前副区長(横山克人氏)に対する感謝状贈呈に関する決議

議員の派遣について
第34回東京都道路整備事業推進大会に議員を派遣するものです。

ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に對する適正な診療上の評価等を求める意見書

ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に對する適正な診療上の評価等を求める意見書

ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に對する適正な診療上の評価等を求める意見書

療のもとにブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)を受けることができるようになったが、脳脊髄液漏出症(脳脊髄液減少症)の患者の中には、保険適用J00712の要件に掛けられていない「起立性頭痛を有する患者に係る者」という条件を伴わない患者がいるため、医療の現場では混乱が生じている。

また、その後の研究で、脳脊髄液の漏出部位は一部に限らず、頸椎や胸椎部でも頻繁に起こることが報告された。ここで、この頸椎や胸椎部にブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)を安全に行うためには、X線透視下で漏出部位を確認しながらの治療が必要であるが、診療上の評価がされていない現状がある。

よって、中野区議会は、政府に対し、上記の新たな現状を踏まえ、脳脊髄液漏出症(脳脊髄液減少症)の患者への、公平で安全なブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)の適用に向け、次のとおり適切な措置を講ずるよう強く要望する。

1 脳脊髄液漏出症(脳脊髄液減少症)の症状において、約10%は起立性頭痛を認めないと公的な研究でも報告があることを受け、算定の要件の注釈として「本疾患では起立性頭痛を認めない場合がある」と加えること。

2 ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)の診療報酬において、X線の透視を要件として、漏出部位を確認しながら治療を行うことを可能にするよう、診療上の評価を改定すること。

(文部科学大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣あて)
◆核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を求める意見書

ウクライナ侵略を続けるロシアのプーチン政権は、「核の威嚇」を公言し、アメリカ、イギリス、フランスも「核抑止力」への依存姿勢を変えていない。また、北朝鮮は弾道ミサイル実験を繰り返して行っており、中

国も核弾頭を増加させていることに懸念が高まっている。よって、中野区議会は、政府に対し、核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を

求める。禁正条約には、93カ国・地域が署名し、69カ国・地域が批准している。また、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める地方議会の決議や意見書を採択した議会の自治体の37%にあたる66の議会となっている。本年8月、被爆地である広島市の平和宣言では、「一刻も早く核兵器禁止条約の締結となり、核兵器廃絶に向けた議論の共通基盤の形成に尽力するために、まずは本年11月に開催される第2回締結国会議にオブザーバー参加していただき」と訴えており、長崎市も同様の宣言をしている。唯一の被爆国として、本年11月に開催される核兵器禁止条約締結国会議に日本政府はオブザーバー参加すべきである。

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の決起大会



8月23日に、野方区民ホールで、西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会が行われました。酒井たくや議長が出席し、区議会代表として挨拶を行いました。

一方、反核平和を求め、世界の流れは加速しており、9月19日現在、核兵器

よって、中野区議会は、政府に対し、核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を